

| | | | |
|---------|---|-------|--------|
| 活動プログラム | No.03 ネイチャービンゴ | | |
| 期待される効果 |   | | |
| プログラム概要 | ビンゴカードを用いることで意欲的に自然を観察するきっかけとなります。また見るだけでなく、匂いや音、触感なども、ビンゴの項目に取り入れることで、自然を五感で感じることができます。 | | |
| 対象 | どなたでも | 人数 | 何人でも |
| 時期 | 通年 | 場所 | 自然の家周辺 |
| 金額 | 教材申込書を参照 | 大人の人数 | 15人に1人 |

| | | |
|-------------------|------------|--|
| 準備物 | 団体ごと | 救急セット |
| | 服装 個人装備 | 長袖、長ズボン、帽子、水筒、タオル、軍手 カップ（上下セパレート）、リュック、筆記用具 |
| 美方高原で レンタル可能な物 | | ビンゴカード（有料）、バインダー、虫めがね、クマ鈴、トランシーバー 長靴 自然の家トレイルマップ ipad |

活動のタイムスケジュール（例）

| 時間 | 運営 | 安全上のポイント |
|-------|-------------------|--------------------------------------|
| 9:00 | 玄関前集合 服装、持ち物確認 | 十分な水分を持っているか 肌の露出の少ない服装か |
| 9:10 | 説明、注意事項 | エリアの確認と活動時 |
| 9:15 | グループごとに出発 | 施設外に通ずる道に関しては事前にスタッフを配置する。 |
| | 指導者は巡回 | |
| 11:00 | 施設に戻り始める | 集合の際、子どもとの行き違いに注意して スタッフは持ち場を離れる。 |
| 11:30 | 集合 ふりかえり | 人数確認 |
| 11:50 | 終了 | |

補足ポイント

- ビンゴカードは施設で販売しているものもありますが、目的に沿ったカードを作成して使用することもできます。また自分たちでカードを作成して実施することもできます。
- カードの内容によって時間の調整が可能なプログラムです。（1時間～）
- グループごとでの活動が適したプログラムです。
- 施設外に出る道には、スタッフを配置する必要があります。

| | | |
|-------------|-------|----------|
| 活動 プログラム | No.03 | ネイチャービンゴ |
|-------------|-------|----------|

| 予期されるリスク | リスクに対する対応 |
|-------------|--|
| 道迷いや遭難 | 地図の配布や分岐点などにスタッフを配置する。無線機や個人の携帯電話なども使うと、指導者間の連携がしやすい。 |
| 散策道の状態 | 散策道の通行に危険な箇所はないか、倒木や落石の恐れがある場所があれば、事前に処理もしくは、ルートの変更をする。 |
| クマや野生動物との遭遇 | クマ鈴を装備させ、単独での行動をさせない。職員はクマよけスプレーを携帯しておく。 |
| 熱中症、脱水症状 | 塩分や十分な水分を準備するよう伝える。服装も調節を促し、日陰での休憩をとらせる。肌を露出させず、日焼け止めの使用を促す。 |
| ハチやヘビとの遭遇 | ハチやヘビとの遭遇した場合の対応を伝えておく。また散策道以外の山中には入らせない。散策道の付近のハチの巣の駆除。 |
| 天候不良 | 当日の天候や予測を確認し、著しく悪化する場合はプログラムの時間変更、もしくは中止する。 |
| その他のケガ、体調不良 | 救急バックを携帯し、応急手当の準備をする。事前の体調調査、当日の確認を行い、バックアップ体制を整えておく。 |

| 事前点検・準備事項 |
|----------------------------------|
| 散策コースは安全に通行できる状態か。 |
| 施設周辺の案内や地図は最新の状態のものを使用しているか。 |
| 天候の情報を確認して、適切な対応をしたか。 |
| 参加者の年齢、人数、スタッフ数、体調面などの情報は入っているか。 |
| 運営方法やタイムスケジュールは明確で共有されているか。 |
| 施設準備物は使用可能な状態か。または数は揃っているか。 |
| 参加者もしくは団体への持ち物の伝達は行ったか。 |

| 活動時のインストラクション（必須事項） |
|---|
| 地図と案内をよく確認し、遭難に十分気をつけること。道ではないところには進まないこと。 |
| 必ずグループで行動すること。（クマとの遭遇を避け、遭難を防ぐため） |
| 塩分、水分補給、を行い、こまめに休憩をとること。 |
| 衣服での体温調節を行うこと。 |
| ハチ、ヘビと遭遇した場合は、刺激せず距離をとること。 |
| 有事の際は、グループ内で分かれ、最後に会ったスタッフを呼びに行くこと。必ず1人にならないこと。 |
| 30分以上他のグループやスタッフに会うことがなければ、その場から動かず、スタッフを待つこと。 |
| 足場を確認しながら進み、捻挫などに気をつけること。特に下りは十分に気をつけ、走らないこと。 |